

## エコアクション21

# 環境経営レポート

(対象期間 2024年6月～2025年5月)

### 目次

1. 環境経営方針	1ページ
2. 事業概要	2ページ
3. 環境管理実施体制表	3ページ
4. 環境経営目標	4ページ
5. 主要な環境活動の内容	5ページ
6. 環境活動の取組結果の評価	6ページ
7. 環境活動の取組結果の評価(グラフ)	7ページ
8. 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容	8ページ
9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9ページ
10. 代表者による評価と見直し	9ページ

## 1.環境経営方針

# 環境経営方針

## 経営理念

「モノづくり」の楽しさを通じて、お取引様・従業員に喜びと感動が与えられる価値を提供します。

## 環境経営指針

可能な限り環境負荷の少ない「楽しいモノづくり」を行い、持続的な「地球」との共生を図り、地域・社会に貢献出来るよう取り組みます。

## 環境経営行動指針

1. 当社の業務に係る法令や条例、その他当社が認める要求項目を遵守します。
2. 当社の事業活動による環境影響を把握するとともに、以下の活動を持続的に行う事で「地球」への負荷低減に努めます。
  - ・電力・燃料等のエネルギーの使用量を低減し二酸化炭素の排出量を削減します。
  - ・資源の再利用等の有効活用を図り廃棄物の削減に努めます。
  - ・節水に努め使用量を低減します。
  - ・作業工程の管理・従業員のスキルアップを通して不良撲滅、適正在庫に努め無駄のない「ものづくり」を行います。
3. 常に見直しを図り、持続可能なシステムを構築します。
4. これらを全ての従業員に周知・徹底します。

作成日2009年9月1日  
改訂日2020年5月8日  
株式会社 スガヌマ  
代表取締役社長  
古木 孝典



## 2.事業の概要

### 事業所名及び代表者名

株式会社 スガヌマ

代表取締役社長 古木 孝典

### 事業所住所(認証登録範囲)

本社・東京工場 〒175-0081 東京都板橋区新河岸1-15-4  
TEL:03-3936-1130 FAX:03-3936-2800  
E-mail:info-tokyo@tec-suganuma.co.jp  
URL:http://tec-suganuma.co.jp

川越工場 〒350-1100 埼玉県川越市古谷本郷1561-1  
TEL:049-235-8431 FAX:049-235-8422

### 環境保全関係の責任者及び担当者

責任者 代表取締役社長 古木 孝典  
担当者 環境管理責任者 川崎 達也  
連絡先 電話番号 03-3936-1130  
FAX番号 03-3936-2800  
E-mail [tatsuya-kawasaki@tec-suganuma.co.jp](mailto:tatsuya-kawasaki@tec-suganuma.co.jp)  
ホームページ <http://tec-suganuma.co.jp>

### 事業の内容

精密板金、レーザー加工、金型・プレス加工

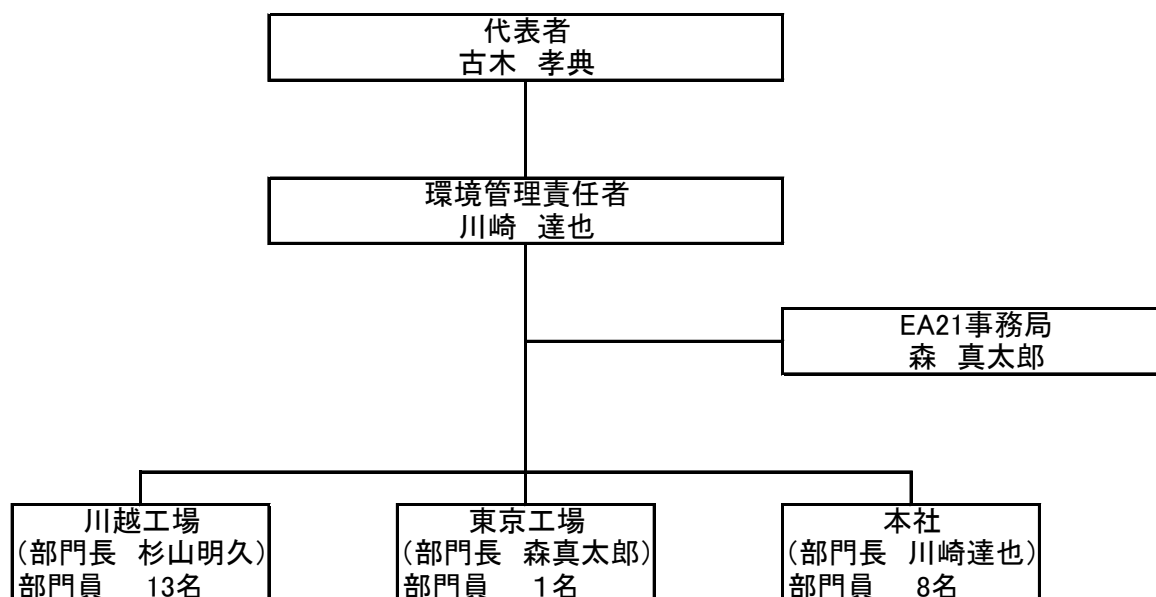
### 事業の規模

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	49000(万円)	35000(万円)	34400(万円)
従業員数(東京)	11人	11人	9人
従業員数(川越)	16人	13人	13人
従業員数(合計)	27人	24人	22人
床面積(東京)	445.5㎡	445.5㎡	445.5㎡
床面積(川越)	799㎡	799㎡	799㎡



### 3.環境管理実施体制表

## 環境管理実施体制表



役職	責任及び権限
代表取締役社長	1.経営における課題とチャンスを整理し明確にする 2.環境管理責任者の任命 3.組織の環境方針を定める 4.環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 5.環境経営システムの定期的見直しの実施 6.社内情報の外部公開可否決定 7.前回改善項目の確認
環境管理責任者	1.環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2.社長への環境経営システムの実施状況報告 3.環境の負荷を把握し取り組み、項目を決定する 4.環境経営レポートを取りまとめる 5.環境関連法規の遵守確認
EA21事務局	1.データ集計及び環境管理責任者の補佐 2.環境関連法規のまとめ、最新性の確認
部門	1.環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善する 2.方針・活動計画に沿って活動する 3.活動を提案する

## 4.環境経営目標

### 全社

環境管理項目		単位	2023年度実績(基準値) 2023年6月～2024年5月	2024年度(計画) 2024年6月～2025年5月	2025年度(計画) 2025年6月～2026年5月	2026年度(計画) 2026年6月～2027年5月	
①	二酸化炭素 排出量の削減	電力の削減	kg-CO <sub>2</sub>	109,318	基準値に対し1%減 108,225	基準値に対し2%減 107,132	基準値に対し3%減 106,038
		原単位	kg-CO <sub>2</sub> /万円	3.6	3.6	3.6	3.5
		燃料の削減	kg-CO <sub>2</sub>	17,877	基準値に対し1%減 17,698	基準値に対し2%減 17,519	基準値に対し3%減 17,341
		原単位	kg-CO <sub>2</sub> /万円	0.6	0.6	0.6	0.6
②	水の使用量の削減	m <sup>3</sup>	255.0	基準値に対し1%減 252.5	基準値に対し2%減 249.9	基準値に対し3%減 247.4	
		原単位	m <sup>3</sup> /人数	10.6	10.5	10.4	10.3
③	廃棄物の削減	ℓ	4,320	基準値に対し1%減 4,277	基準値に対し2%減 4,234	基準値に対し3%減 4,190	
		原単位	ℓ/万円	0.1	0.1	0.1	0.1
④	社内不良品の削減	不良率(%)	3.7	基準値に対し0.1%減 3.60	基準値に対し0.1%減 3.60	基準値に対し0.1%減 3.60	
⑤	化学物質使用量の削減	ℓ	109	基準値に対し1%減 108	基準値に対し2%減 107	基準値に対し3%減 106	
		原単位	ℓ/万円	0.00364	0.00360	0.00356	0.00353
⑥	グリーン購入の推進	(%)	55.1	基準値に対し1%増 55.7	基準値に対し2%増 56.2	基準値に対し3%増 56.8	

### 本社・東京工場

環境管理項目		単位	2023年度実績(基準値) 2023年6月～2024年5月	2024年度(計画) 2024年6月～2025年5月	2025年度(計画) 2025年6月～2026年5月	2026年度(計画) 2026年6月～2027年5月	
①	二酸化炭素 排出量の削減	電力の削減	kg-CO <sub>2</sub>	32,154	基準値に対し1%減 31,832	基準値に対し2%減 31,511	基準値に対し3%減 31,189
		燃料の削減	kg-CO <sub>2</sub>	13,801	基準値に対し1%減 13,663	基準値に対し2%減 13,525	基準値に対し3%減 13,387
②	水の使用量の削減	m <sup>3</sup>	55.0	基準値に対し1%減 54.5	基準値に対し2%減 53.9	基準値に対し3%減 53.4	
③	廃棄物の削減	ℓ	1,620	基準値に対し1%減 1,604	基準値に対し2%減 1,588	基準値に対し3%減 1,571	
④	社内不良品の削減	不良率(%)	3.7	基準値に対し0.1%減 3.60	基準値に対し0.1%減 3.60	基準値に対し0.1%減 3.60	
⑤	化学物質使用量の削減	ℓ	109	基準値に対し1%減 108	基準値に対し2%減 107	基準値に対し3%減 106	
⑥	グリーン購入の推進	(%)	55.1	基準値に対し1%増 55.7	基準値に対し2%増 56.2	基準値に対し3%増 56.8	

### 川越工場

環境管理項目		単位	2023年度実績(基準値) 2023年6月～2024年5月	2024年度(計画) 2024年6月～2025年5月	2025年度(計画) 2025年6月～2026年5月	2026年度(計画) 2026年6月～2027年5月	
①	二酸化炭素 排出量の削減	電力の削減	kg-CO <sub>2</sub>	77,164	基準値に対し1%減 76,392	基準値に対し2%減 75,621	基準値に対し3%減 74,849
		燃料の削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,076	基準値に対し1%減 4,035	基準値に対し2%減 3,994	基準値に対し3%減 3,954
②	水の使用量の削減	m <sup>3</sup>	200.0	基準値に対し1%減 198.0	基準値に対し2%減 196.0	基準値に対し3%減 194.0	
③	廃棄物の削減	ℓ	2,700	基準値に対し1%減 2,673	基準値に対し2%減 2,646	基準値に対し3%減 2,619	
③	社内不良品の削減	不良率(%)	3.7	基準値に対し0.1%減 3.60	基準値に対し0.1%減 3.60	基準値に対し0.1%減 3.60	

\*化学物質の削減は東京にて一括処理のため

\*購入電力排出係数は2023年の0.464/kWhを適用

\*基準値原単位生産売上は2023年度の 29984 万円を適用する

\*水使用量の削減の原単位(人数)基準値は2023年度の 24 人を適用した

## 5.主要な環境活動の内容

No.	環境目的	実施項目	責任者	年間実施予定タイムテーブル											
	環境目標		実施部門	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
1	二酸化炭素排出量の削減	1.電力使用量の削減 (1)照明の適正化 (2)空調の適温化 (3)機械機器の電力の低減	本社 川崎 達也 川越工場 杉山 明久	6月社員への告知 → 7月全体会議での説明 → 8月ポップにて掲示 →											
	二酸化炭素排出量														
	2023年度比 1%削減	2.化石燃料消費量の削減 (1)エコドライブの徹底 (2)納品時の効率的な配送 (3)冬季、暖房の適正化	本社 川崎 達也	6月社員への告知 → 7月全体会議での説明 → 8月ポップにて掲示 →											
	127195 Kg-CO <sub>2</sub> ↓ 125923 Kg-CO <sub>2</sub>														
水使用量	4.水使用量の削減 (1)社員への意識付け	本社 川崎 達也 川越工場 杉山 明久	6月社員への告知 → 7月全体会議での説明 → 8月ポップにて掲示 →												
			2023年度比1%削減 255 m <sup>3</sup> ↓ 252.5 m <sup>3</sup>												
2	社内不良品の削減	1.作業工程管理の徹底 (1)社員への意識付け	東京工場 川崎 達也 川越工場 杉山 明久	6月社員への告知 → 7月全体会議での説明 →											
	社内不良率3.6%以下														
3	廃棄物の最終処分量削減	(1)裏紙の使用 (2)メールの活用 (3)ダンボールの再利用 (4)廃棄物の分別 (5)リサイクルの促進	本社 川崎 達也 川越工場 杉山 明久	6月社員への告知 → 7月全体会議での説明 → 8月会議での過去2カ月の報告											
				1%削減											

## 6.環境保全活動の取組結果の評価

項目	年間(6月～5月)		2022	2023	2024	2025 目標
二酸化炭素 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	全体	目標	167246	165537	125923	124651
		実績	157960	143363	125059	
		目標原単位	4.7	5.5	4.0	4.2
		実績原単位	4.4	4.8	4.0	
		達成評価	○	○	○	
	本社	目標	56639	56059	45495	45036
		実績	55158	50804	44182	
		目標原単位	1.6	1.9	1.4	1.5
		実績原単位	1.5	1.7	1.4	
		達成評価	○	○	○	
	川越	目標	110607	109478	80428	79615
		実績	102802	92559	80877	
		目標原単位	3.1	3.7	2.6	2.7
		実績原単位	2.9	3.1	2.6	
		達成評価	○	○	×	
水使用量削減 水使用量 原単位 (一人・m <sup>3</sup> )	全体	目標	259.2	256.1	252.5	249.9
		実績	298	255	232	
		目標原単位	9.6	10.7	11.5	10.5
		実績原単位	11.0	10.6	10.5	
		達成評価	×	○	○	
	本社	目標	64.8	64	54.5	53.9
		実績	72	55	48	
		目標原単位	5.9	6.4	6.1	5.4
		実績原単位	6.5	5.5	5.3	
		達成評価	×	○	○	
	川越	目標	194.4	192.1	198	196
		実績	226	200	184	
		目標原単位	12.2	13.7	15.2	14.0
		実績原単位	14.1	14.3	14.2	
		達成評価	×	×	○	
不良品の削減 不良品率(%)	全体	検査数	3356	2464	2387	
		目標(%)	3.7	3.7	3.6	3.6
		実績(%)	2.9	3.7	3.7	
		達成評価	○	○	×	
		目標	-	-	4277	4234
廃棄物の削減 (ℓ)	全体	実績	4455	4365	4250	
		目標原単位	-	-	0.14	0.14
		実績原単位	0.13	0.15	0.13	
		達成評価	○	○	○	
		目標	-	-	1604	1588
	本社	実績	1710	1665	1585	
		目標原単位	-	-	0.0509	0.05
		実績原単位	0.05	0.06	0.0503	
		達成評価	○	○	○	
		目標	-	-	2673	2646
	川越	実績	2745	2700	2665	
		目標原単位	-	-	0.0848	0.09
		実績原単位	0.08	0.09	0.0845	
		達成評価	○	○	○	
		年間生産売上(万円)		35600	29884	31531

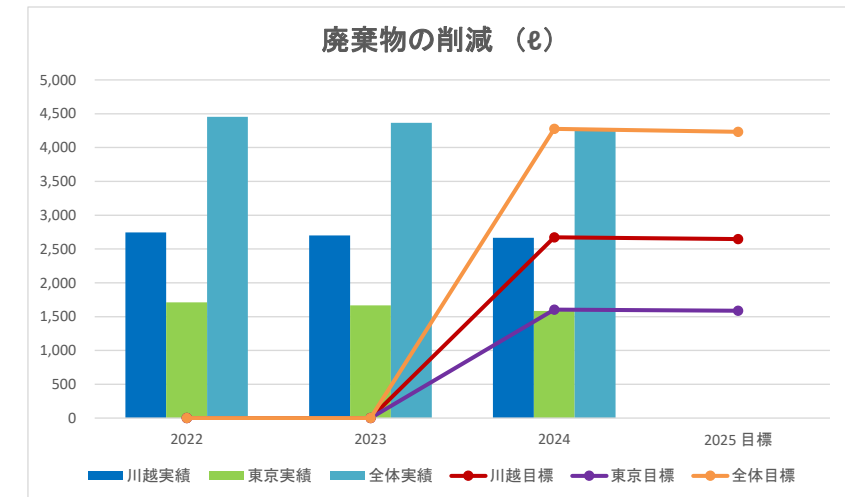
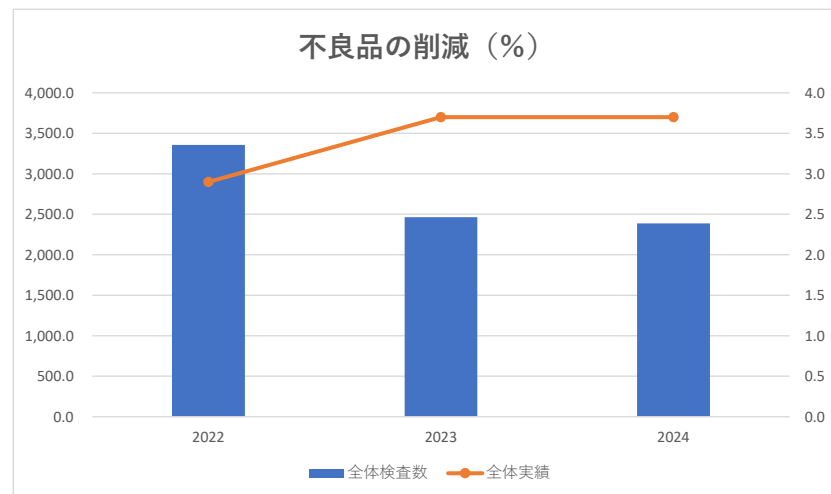
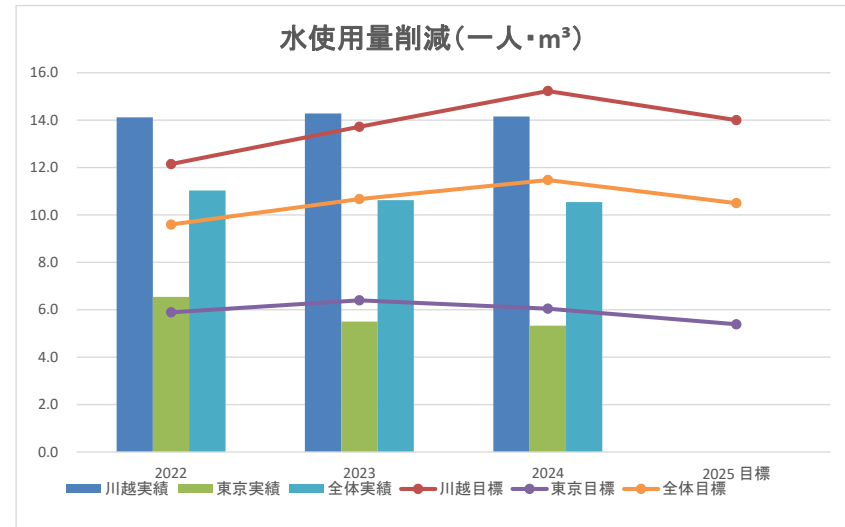
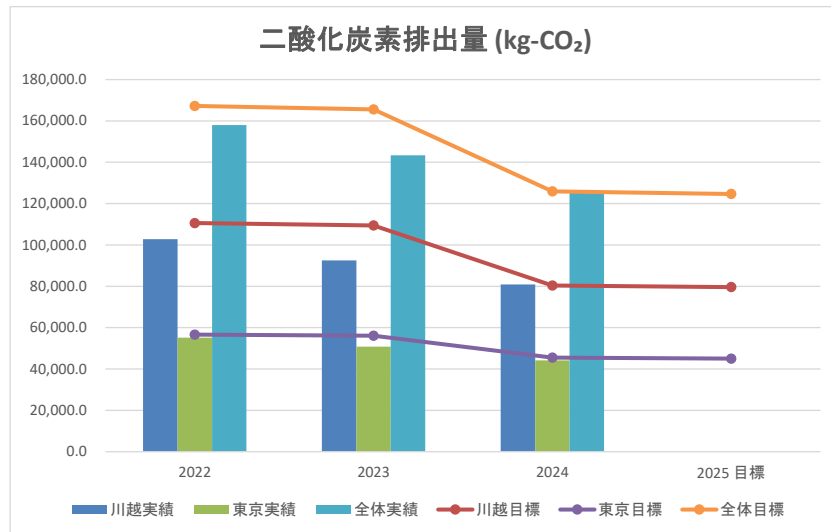
※2024年度から廃棄物の削減の単位変更の為、2022年・2023年の目標は一標記になっています

※電力の二酸化炭素排出量は四国電力㈱の2023年実績の0.464kg/kWhを適用

※基準値原単位生産売上は2023年度の 29884 万円を適用する

※評価は原単位で行っています

## 7.環境保全活動の取組結果の評価



## 8.環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

目標項目		今年度の取組内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	1.電力使用量の削減	(1)照明の適正化	社員全員で節電を意識した結果CO2排出量を減らすことが出来ました。エアコンなどの適切な温度設定、フィルター清掃ができたと思います。機械など使用しないときはこまめに電源を落としていたと思います。	引き続き社員全員で節電を心掛けていきます。
		(2)空調の適温化		
		(3)機械機器の電力の低減		
	2.化石燃料消費量の削減	(1)エコドライブの徹底	去年に引き続き適切なルート設定、適切な時間帯での配送、できる限りまとめて配送、などができた事によりCO2の削減につながったと思います。また、個々による車両のメンテナンスも削減につながったと思います。	引き続き社員で適切なルートの検索、共有を行いより効率良くCO2の削減を目指していきます。
		(2)納品時の効率的な配達		
		(3)冬季、暖房の適正化		
4.水使用量の削減		(1)社員への意識付け	去年に引き続き社員全員で意識して節水に取り組みました。手洗い、うがい、トイレなど仕方がないのは除いて、洗車、部品洗浄などの際には水を貯めて使うなど意識しました。	限界はありますが、引き続き節水を呼びかけ社員全員で意識していきます。
廃棄物排出量削減	1.紙の使用量の削減	(1)裏紙の使用	裏紙の使用、メールの活用、ダンボールの再利用、できる限りまとめて梱包、使い終わった紙を緩衝材にするなど意識が出来ていたと思います。	引き続き裏紙の使用、メールの活用、再利用を心掛けていきます。
		(2)メールの活用		
		(3)ダンボールの再利用		
	2.最終廃棄物の削減	(1)廃棄物の分別	使えるものは再利用、ごみの分別がよく出来ていたと思います。ごみを捨てる際なるべく圧縮して捨てる、水筒の持参など意識しました。	引き続き分別を行い、なるべくゴミの多く出るものの購入を控えていきます。(エコパッケージ、詰め替え品ラベルレスなど)
		(2)リサイクルの促進		
	化学物質使用量の削減	1.使用量の削減	(1)再利用	再利用、一回の使用時に使う量をなるべく少なくする意識をしたことにより、使用量を減らすことが出来ました。
2.SDSによる管理		(1)チェックの徹底		
1.グリーン購入の推進		(1)コピー用紙など文房具を購入	引き続きカタログを見て、グリーン購入を意識しました。	引き続きカタログを見て、グリーン購入を意識します。
不良率の削減		(1)品質会議の実施	月に一度品質会議を行い、不良品の原因を追求し、対策を行う。結果としては去年と大幅に変わることなく、少ない不良率を維持しています。	引き続き各工程のチェックや、品質会議で不良率を減らしていきます。
		(2)工程ごとのチェック		

## 9. 主な環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況は、2025年6月に確認した結果下記の通りです。  
また関連機関からの指摘、環境関連の訴訟についても下記の通りです。

### 本社・東京工場

該当法規名	法律違反の有無	指摘・訴訟の有無
1.廃物処理の処理及び清掃に関する条例	無	無
2.グリーン購入法	無	無
3.フロン排出抑制法	無	無
4.東京都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (工場設置)	無	無

### 川越工場

該当法規名	法律違反の有無	指摘・訴訟の有無
1.廃物処理の処理及び清掃に関する条例	無	無
2.埼玉県生活環境保全条例（騒音規制）	無	無
3.埼玉県生活環境保全条例（振動規制）	無	無
4.グリーン購入法	無	無
5.フロン排出抑制法	無	無

環境関連法規への遵守状況の評価の結果、環境への逸脱はありません  
また、違反等の指摘、訴訟等はありません

## 10. 代表者による評価と見直し結果報告

環境方針の変更の必要性（有りません）

環境目的・目標の変更の必要性（有りません）

環境活動計画及び環境経営システム等の変更の必要性（有りません）

実施体制表の変更の必要性(有りません)

**評価点** 概ね目標値をクリアしており、全社的に持続可能な生産活動を推進した結果だと大いに評価します。  
今後も数値目標をクリアする事が目的は無く、日頃から環境負荷の低減を意識した生産活動を行って下さい

**改善点** 上記をふまえ、グリーン購入をもっと意識的に推進しましょう

